

取扱説明書

ニッシン製品をお買い上げいただき
誠にありがとうございます。

ご使用にあたっては、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いいただきますようお願いいたします。
また、カメラの操作・機能に関しましては、ご使用になるカメラの取扱説明書をご参照ください。

コマンダーAir1 (フォーサーズ用) は、ニッシン独自の電波式ワイヤレスTTLシステム「NAS (Nissin Air System)」の送信機です。NASの受信機能を内蔵した機器を3グループ (最大21台まで) に分けてコントロール出来ます。なお、NASは他メーカーのワイヤレスTTLシステムとの互換性はありません。

対応カメラ

最新の対応カメラ一覧表は、
<http://www.nissin-japan.com>でご確認ください。

NAS ニッシンエアシステム (NAS) はニッシンストロボとニッシンコマンダー専用設計されたシステムです。

- 2.4GHz帯 (ISM/バンド) ※技術基準適合認定取得済み
- 使用可能範囲: 最長30m (使用環境によって異なります)
- 金属、ケーブル類、壁、2.4GHz帯を使用する他の機器などによって、NASの使用可能範囲が制限される場合があります。

安全上のご注意 ■必ずお守りください。
ご使用になる人や他人への危害、財産への損害を未然に防止する為、お守り頂くことの説明をしています。よくお読みになり取扱いにご注意ください。

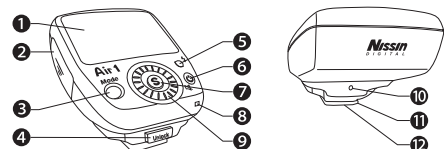
警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、感電したり、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。必ずお守りください。
注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。必ずお守りください。

- 警告**
- 落としたり、破損したりした場合、または機器の中に物体が落ち込んだ場合には、絶対に露出部分に触れないでください。
 - 人の目の前 (特に乳幼児) に近づけて発光しないでください。目の近くで発光させると、視力障害を起こす危険性があります。特に乳幼児を撮影する場合は1m以上離れてください。
 - コップ、化粧品、薬品の入った容器のそばで使用しないでください。こぼれたり、機器の中に入った場合は、火災、感電または傷害の原因になります。
 - 本機は防水ではないので、雨がかかる場所や、湿度の高い場所に置かないでください。
 - 自動車など40℃を超えるような高温になる場所に放置しないでください。
 - 可燃性ガスおよび爆発性ガスなどが大気中に存在する恐れがある場所で使用しないでください。

- 注意**
- 電池を高熱にさらさないでください。
 - 乾電池は充電しないでください。
 - 不安定な場所では本機を使用しないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下したりすることにより怪我の原因となる場合があります。

- その他の注意**
- ペンジンやシンナー、アルコールなどで本機を拭かないでください。変色や変形の原因となります。汚れのひどいときは柔らかい布で乾拭きしてください。
 - 本機を長期間使用しない場合は、液漏れ防止のため電池を抜いて保管してください。

各部名称



- ① LED表示パネル
- ② 電池カバー
- ③ モード選択ボタン
- ④ シューロック/ロック解除ボタン
- ⑤ パイロットランプ
- ⑥ 電源オン/オフボタン (ピープ音オン/オフボタン)
- ⑦ セットボタン
- ⑧ ストラップ取付穴
- ⑨ セレクトダイヤル
- ⑩ オートフォーカス補助光
- ⑪ 取付足
- ⑫ シュー接続ピン

基本操作

電池の挿入

使用できる電池: ニッケル水素電池 (エネループ他)、アルカリ乾電池

- 電池カバーを図の①、②の順番に開きます。
- 単4形電池2本の＋の向きを合わせて正しく挿入してください。
- 電池カバーを①押してから②スライドさせて閉めてください。

① 注意

電池は、同じブランドで同じタイプの新しい電池を使用してください。同時に交換することをお勧めします。また、充電電池の場合は、同時に充電した電池をご使用ください。

省電力モード

本機は、電池の消耗を防ぐために、省電力モードを備えています。アイドル状態から4秒後にLEDランプが暗くなり、2分後にLEDランプが消灯します。省電力モード時はパイロットランプが2秒おきに点滅します。ボタンをどれか押すと、省電力モードから復帰しLEDランプが再点灯します。本機の操作を60分間行わなかった場合は電源OFFになります。

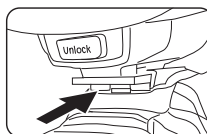
リセットの方法

モードボタンを5秒間長押しすると、本機の全ての設定はリセットされ工場出荷時の状態に戻ります。(ペアリングは解除されません。)



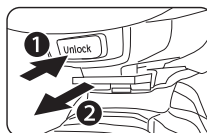
カメラに装着する

- Air1の取付足をカメラのホットシューに挿入します。
- 奥まで差し込むと、ロックピンでしっかり固定します。



カメラから取り外す

- [Unlock] (ロック解除ボタン) を押しながら、②取付足を引き抜きます。



HSS (ハイスピードシンクロ) モードへの切替え

HSSモードはパイロットランプを長押しします。

HSS (ハイスピードシンクロ) モードへの切替は、カメラに装着したAir1のパイロットランプ (テスト発光ボタン) を長押しし、ランプが点滅する状態となれば切替完了となります。

Air1を使用したワイヤレス撮影の場合、Air1のみ切り替えればグループ内全てのストロボがHSSモードで動作致します。通常発光モードへ戻す場合も同じ手順となります。

ワイヤレス撮影を行う前に

ワイヤレス撮影を行う前に、以下の手順にしたがって、コマンダーAir1 (マスター) とストロボ (スレーブユニット) のペアリング設定を行ないます。

① 注意

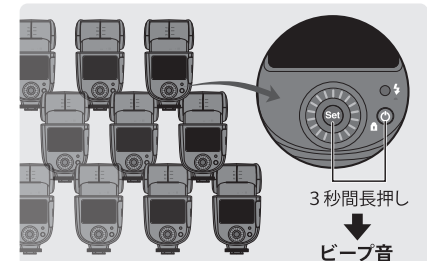
ご使用前に必ずペアリング (ID) 設定を行ってください。

【ステップ1】: 全てのユニットの電源をOFFにする。

【ステップ2】: 以下の手順でペアリング設定を行います。

① スレーブユニット (Di700AなどNASの受信機能を内蔵するユニット) の設定

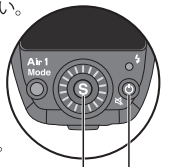
- スレーブユニットの「セットボタン (Set)」と「オン/オフボタン (On/Off)」を同時に3秒間長押ししてください。



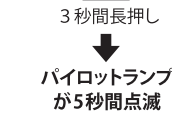
- ピープ音がなりますので、そのまま次にAir1の設定を行います。

② マスターユニット コマンダー Air1 の設定

- Air1の「セットボタン (S)」と「オン/オフボタン (On/Off)」を同時に3秒間長押ししてください。
- パイロットランプが5秒間点滅した後、スレーブユニット (Di700Aなど) のピープ音が止まります。
- これでペアリングは完了です。



※ Air1はスレーブユニットに2～4秒遅れて設定が完了します。
※ ペアリング作業が完了するまでスレーブユニットの操作を行わないでください。



※ 複数台のスレーブユニットをお持ちの場合は、同様の操作を繰り返してください。

※ 21台までペアリングできます。

※ 複数台のスレーブユニットを1台ずつ順番にペアリングする時間を短縮したい場合は、先に何台かのスレーブユニットを長押ししてピープ音を出してから、最後に1回 Air1を長押しすれば、一度にペアリングができます。

① 注意

ペアリング設定は、電源をオフにしても設定が記憶されたまま残ります。テスト発光を行うときはコマンダーAir1のパイロットランプを押してください。

Air1の機能説明

各モードとグループの設定について

Air1には3つのモード(TTL/Manual/Zoom)があります。各モードごとにA/B/C 3つのグループ制御が可能です。グループはABCの比率を保ったままシフトすることもでき、また特定のグループを発光停止することもできます。

※後述「特定グループを発光停止する場合」を参照

●各モードの説明

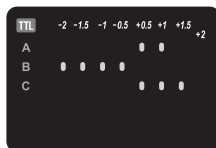
コマンダー Air1



【TTL】TTLモード

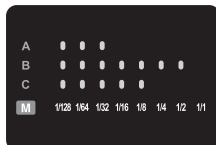
発光量を自動調節するモードです。調光補正により発光量を補正することが出来ます。

調光補正可能範囲
-2EV～+2EV



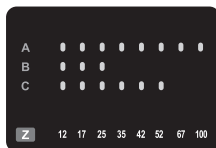
【M】マニュアルモード

発光量を手動調節するモードです。発光量の調節可能範囲1/128～1/1(フル発光)



【Z】ズームモード

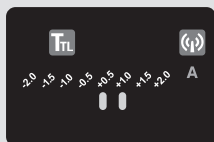
照射角を手動調節するモードです。調節可能範囲12mm～100mm



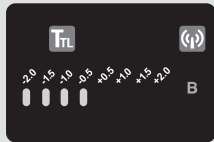
スレーブユニット 【例】Di700AのTTLモード



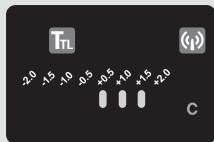
グループ A



グループ B



グループ C



「スレーブユニット」と「Air1」の設定

※スレーブユニットの設定の前に「Air1」と「スレーブユニット」のペアリングが済んでいることを確認してください。

A. 先にスレーブユニットの設定をします。

1. 使用するスレーブユニット (例 Di700A) をどのグループで使用するのかを設定します。(使用するストロボの取扱説明書を参照してA/B/Cの中から選んで下さい。)
2. 被写体から同じ距離にあるスレーブユニットであれば複数台を同じグループにセットすることも可能です。



B. 次にAir1の設定をします。

電源のオン/オフの仕方：

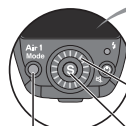
「オン/オフボタン」を押すと電源が入ります。手で電源を切る場合は、「オン/オフボタン」を3秒間長押しします。

TTLモードでワイヤレス撮影をする場合

1. Air1 のモードボタンを押してTTLを選びます。
2. セットボタン (S) を押してグループ A/B/C/ABC を選び、使用するスレーブユニットをコントロールします。選択中のグループが点滅します。ABC が全部点滅しているときは3つのグループの比率を保ったまま値をシフトすることが出来ます。
3. 調光補正を行う場合は、セレクトダイヤルを回してください。調光補正值は -2.0EV ～ +2.0EV まで 1/2EV ステップごとに変更できます。



コマンダー Air1



1. Modeボタン
2. Sボタン
3. セレクトダイヤル

スレーブユニット 【例】Di700AのTTLモード



グループ A



グループ B



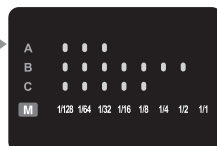
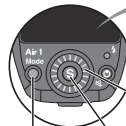
グループ C

「M」：マニュアルモードでワイヤレス撮影をする場合

1. Air1 のモードボタンを押して「M」を選びます。
2. セットボタン (S) を押してグループ A/B/C/ABC を選び、使用するスレーブユニットをコントロールします。選択中のグループが点滅します。ABC が全部点滅しているときは3つのグループの比率を保ったまま値をシフトすることが出来ます。
3. 調光補正を行う場合は、セレクトダイヤルを回してください。発光量は 1/128 ～ 1/1 まで 1EV ステップごとに変更できます。

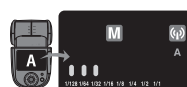


コマンダー Air1

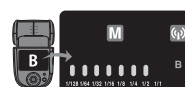


1. Modeボタン
2. Sボタン
3. セレクトダイヤル

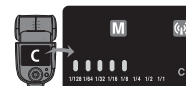
スレーブユニット 【例】Di700Aのマニュアルモード



グループ A



グループ B



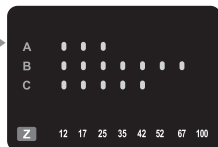
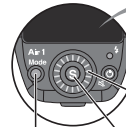
グループ C

「Z」：ズームモードでワイヤレス撮影をする場合

1. Air1 のモードボタンを押して「Z」を選びます。
2. セットボタン (S) を押してグループ A/B/C/ABC を選び、使用するスレーブユニットをコントロールします。選択中のグループが点滅します。ABC が全部点滅しているときは3つのグループの比率を保ったまま値をシフトすることが出来ます。
3. 照射角を変更する場合は、セレクトダイヤルを回してください。照射角は12mm/ 17mm/ 25mm/ 35mm/ 42mm/ 52mm/ 67mm/ 100mmに設定できます。



コマンダー Air1

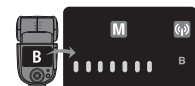


1. Modeボタン
2. Sボタン
3. セレクトダイヤル

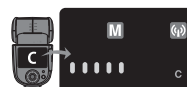
スレーブユニット 【例】Di700Aのズームモード



グループ A



グループ B



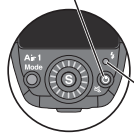
グループ C

△ 特定グループを発光停止する場合

発光を停止したいグループが点滅している時に「オン / オフボタン」を押すと発光が停止します。停止した発光を再開する場合は、セットボタンでそのグループを点滅させて、もう一度オン / オフボタンを押してください。

スレーブユニットのピープ音のオン/オフ設定

コマンダー Air1



1. オン/オフボタンを押す。
2. パイロットランプの色が変わります。

オレンジ色 … ピープ音「オン」
白色 … ピープ音「オフ」

① 注意

※A、B、C いずれも点滅していない状態で操作してください。

オートフォーカス補助光

低コントラストの被写体や、暗所で撮影を行う場合、オートフォーカス補助光を被写体に自動的に照射し、合焦しやすくします。

※カメラによっては、カメラ側のAF補助光を優先して発光させるため、ストロボ側のAF補助光が発光しない場合があります。

ストロボの設置場所について

- 使用可能範囲: 最長30m(使用環境によって異なります)
- スレーブユニットはグループAかBかCにセットして、マスターユニットから発光量をコントロールすることが出来ます。
- スレーブユニットは使用可能範囲内であれば、どの位置に設置しても構いません。
- NASは電波式ワイヤレス通信システムです。光学式ワイヤレス通信システムでは受光しにくい状況、例えば遮蔽物がある場所や日中の屋外などでもシンクロしやすいのが特徴です。(ただし使用環境により異なる場合があります)

チャンネル設定の切り替えが必要な場合

無線LANや他の電波式スレーブなど同じ2.4GHz帯を使用している通信機器の干渉を防ぐために、送信チャンネルを変更することが出来ます。

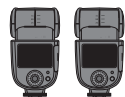
コマンダー Air1

1. 「セットボタン(S)」を3秒間長押ししてください。
2. チャンネル設定画面に切り替わります。
3. セレクトダイヤルを回し、8つのチャンネルの中から1つ選びます。
4. 「セットボタン(S)」を押すと決定されます。
5. スレーブユニット(Di700Aなど)のピープ音が鳴ります。
6. チャンネル設定は完了です。



3秒間長押し

セレクトダイヤルで
チャンネルを1つ選び
セレクトボタンを押す



スレーブユニット
のピープ音が鳴
り設定完了

Air1 のチャンネルを切り替えると、ペアリングされたスレーブユニットのチャンネルも自動的に切り替わります。

- ニッシンエアシステム (NAS) は、他のワイヤレス機器と混信しないように固有のIDが割り当てられます。
- 電波通信を行っている他のワイヤレス通信システムや他の無線機器との混信を防ぐために、通信チャンネルを切り替えることもできます。
- 本機ご使用の前に、マスターユニット (Air1) とスレーブユニットのペアリング (ID) 設定を行います。通信チャンネルはペアリング設定時に自動で割り振られますので、最初はチャンネル設定は特に必要ありません。
- 通信チャンネルの切り替えは他の電波機器による混信が起こる時などに、混信を避けるために行なってください。

■主な仕様

対応カメラ	フォーサーズ/マイクロフォーサーズ デジタル一眼レフカメラ	
ワイヤレス方式	NAS(Nissin Air System)準拠の電波式	
電波仕様	2.4GHz帯 (ISMバンド) 技術基準適合認定取得済み	
通信	事前にペアリング設定を行った スレーブユニットと通信	
チャンネル	8チャンネル(本機よりペアリングを行った グループ全体のスレーブユニットを一括にて設定)	
発光グループ	A/B/C 3グループ(グループ別制御、 グループ一括制御、グループ別発光停止が可能)	
電源	単4型2本 (別売)	
発光間隔	最速10回/秒	
発光回数	約3,000回 (アルカリ乾電池使用時)	
使用可能範囲	最長30m(使用環境によって異なります)	
動作モード	TTL マニュアル…FULL~1/128,1EVステップ	
ズーム調整	本機よりスレーブユニットの照射角変更可能 (12/17/25/35/42/52/67/100)	
ストロボ調光補正機能	-2.0~+2.0、1/2EVステップ(TTL)・ 1EVステップ(マニュアル) 各グループ毎及び全グループ一括で調整可能	
ハイスピードシンクロ/FP発光	対応	
後幕シンクロ	対応*	*カメラ側で設定が 必要です
スローシンクロ	対応*	
赤目軽減モード(オリンパスのみ)	対応*	
赤目軽減+スローシンクロモード (オリンパスのみ)	対応*	
AF補助光	有効距離0.7~5m	
背面操作部	LEDカラーディスプレイ・ダイヤル式マルチセクター	
ファームウェアアップデート端子	あり (専用端子)	
寸法 (幅×高さ×奥行)	約60×50×65mm	
質量	55g (電池除く)	

※製品の仕様は、改良などにより予告なく変更することがあります。

NISSINは、ニッシンジャパン株式会社の登録商標です。
その他記載の会社名や製品名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。

★最新カメラへのファームウェアアップデート サービスやファームウェア対応状況に関するお問い合わせは、ニッシンホームページ、または、お問い合わせ窓口をご利用ください。

ホームページ: www.nissin-japan.com
TEL. 050-3736-7756

Ver. 17012701